

# 石川県立図書館サービス計画

## 中期経営プラン

令和4年度～令和9年度

2022年9月30日

2023年2月28日誤記訂正

2023年12月15日訂正

## 1. プランの目的

石川県立図書館では、令和4年7月の新図書館の開館に合わせ、令和14年度までの約11年間の「サービス計画」を定めました。本プランは、このサービス計画によって新たな県立図書館を目指すべき理想の姿へと導くため、開館年度以降の5年間に取り組むべき中期的な取組みを取りまとめたものです。当館では、本プランに基づいて取組みを着実に実行に移すことで、思い描くサービスを計画通りに推進してまいります。

## 2. サービス計画の基本理念と重点戦略

サービス計画では、県立図書館の基本理念として、

思いもよらない本との出会いや体験によって、  
自分の人生の1ページをめくることができる場所

と定めています。そして、この基本理念を実現するための取組みとして、4つの重点戦略と9つの施策を定めています。

重点戦略Ⅰ 知的な活気にあふれ、新たな出会いと進歩を後押しする

- 施策① 知識を深め、アウトプットに役立つ体験の提供
- 施策② 多くの県民を惹きつける魅力的なイベントや企画展の実施

重点戦略Ⅱ 県民に寄り添い、県民とともに成長する

- 施策③ 県民が抱えるライフステージ上の悩みや課題へのサポート
- 施策④ 幅広い利用者に対応した多様なサービスの提供
- 施策⑤ 図書館を支えるハイレベルな職員の養成

重点戦略Ⅲ 知と文化の象徴として多様な情報を集積する

- 施策⑥ 石川ならではの情報を含む多様な資料の収集・整備
- 施策⑦ 快適な情報へのアクセスと閲覧環境の提供

重点戦略Ⅳ 唯一の「県立」として、積極的で幅広い連携・支援・発信を担う

- 施策⑧ 県内図書館や高等教育機関、学校、文化施設等との連携・支援
- 施策⑨ 効果的で訴求力のある広報の展開

以下では、それぞれの項目ごとに、令和9年度までに取り組むべき具体的な項目を示します。

### 3. 具体的取組み

重点戦略Ⅰ 知的な活気にあふれ、新たな出会いと進歩を後押しする

施策① 知識を深め、アウトプットに役立つ体験の提供

項目	具体的取組み
モノづくり体験の提供	本で得る知識をより深いものとするため、体験学習スペースでのモノづくり体験プログラムを提供します。自由な創造活動を支援するため、デジタルファブリケーション(製作)のための機器を提供します。
	石川コレクションのデジタルデータを活用した創作活動を行うことで、伝統文化・里山里海の普及啓発に努めます。
	モノづくりの機器を操作できる事業者に体験学習スペースの運営を委託し、機器に触れる機会や知識をアウトプットする機会を提供します。
食文化体験の提供	本で得る知識をより深いものにするため、調理も可能な食文化体験スペースを設け、石川の食文化に関するイベント等を実施します。
	食文化体験スペースを貸館として運用し、広く県民に利用いただける環境とします。
おはなしの森での体験の提供	子どもたちにいしかわの里山里海の知識を深めてもらうため、本も活用しながら、耕作体験や観察会などの体験会を実施します。

施策② 多くの県民を惹きつける魅力的なイベントや企画展の実施

項目	具体的取組み
イベントを行うことのできる場の提供	<p>様々なイベントが可能となるよう、屋内外ひろば、階段ひろば、食文化体験スペース、モノづくり体験スペース、研修室を設け、貸館などによって提供します。</p> <p>高校生や大学生を含めた幅広い県民に開かれた場として、文化活動・交流の舞台とし、その活動や交流を支援します。</p>
各種イベントの主催・誘致	<p>図書館大会といった図書館関係のイベントはもちろん、各種講演会、学会、上映会、音楽会、農産物マルシェ、ワークショップ、セミナー、教室等、県民を惹きつける多彩で魅力的なイベントを主催・誘致します。</p>
企画展の開催	<p>図書館をより身近なものとするため、閲覧室において、タイムリーでわかりやすい企画展を開催し、図書館利用者の裾野の拡大に努めます。</p> <p>県立図書館が所蔵する絵図等の価値ある資料のほか、県民のメディア芸術作品等についての展示を行うなど、知的な刺激を誘発する工夫を行います。</p>

重点戦略Ⅱ 県民に寄り添い、県民とともに成長する

施策③ 県民が抱えるライフステージ上の悩みや課題へのサポート

項目	具体的取組み
テーマ別エリア	県民のニーズに応じた12のテーマを設定し、従来の図書館の分類にとらわれないわかりやすい配架を行うことで、これまで図書館を使ってこなかった方に対しても気軽に本を手にとってもらえるようにします。また、資料についても、子育てをはじめ、暮らしやビジネスなど、時代の変化にも合わせながら、分かりやすい資料の収集に努めます。
参考資料	各種の情報収集に役立つよう、幅広い参考資料(レファレンスブック)を取りそろえ、分かりやすく提供します。
医療情報	健康に関する情報収集が行えるよう、医療情報に関する図書を豊富にそろえ、分かりやすく提供します。
レファレンスサービス	3階調べものデスクでは、司書が利用者と一緒に資料や情報を調査する手助けをすることで、課題解決の的確な道案内を行います。
	レファレンス共同データベースにレファレンス実績を登録することで、ウェブ上で手軽に解決できるようにします。また、気軽に質問できるよう、電話やメールによるレファレンスサービスを受け付けます。
レフェラルサービス	高等教育機関や専門機関等と連携・協力し、専門的な知識を持っている人や機関を的確に紹介します。また、専門機関等と連携し、課題解決に資する講演会等を開催します。
情報リテラシーの向上	蔵書検索の仕方やデータベースをはじめとした情報の活用方法など、図書館を隅々まで使ってもらうための図書館活用講座を開催します。また、各種パスファインダーを作成し、提供します。

施策④ 幅広い利用者に対応した多様なサービスの提供

項目	具体的取組み
児童サービス	<p>子どもに体を動かしながら楽しんで読書を親しんでもらうため、広い児童エリアと児童専用の屋外閲覧エリアであるおはなしの森を設置します。授乳室や軽食がとれるスペースも設けるなど、親子そろって過ごしやすい環境を整えます。</p>
	<p>その年に発刊される児童書の全点を収集するとともに、読み聞かせ会など読書に親しむ企画を実施します。</p>
	<p>ボードゲームやおもちゃを提供し、読書だけではない様々な過ごし方を提案します。</p>
	<p>子ども向け映像作品の上映会を開催します。</p>
障害のある方等へのサービス	<p>大活字本、LLブックを積極的に収集し、提供します。</p>
	<p>デージーを収集し、提供します。</p>
	<p>耳が聞こえにくい方には、筆談に対応します。</p>
	<p>目に障害がある方には、対面朗読室において対面朗読を行います。</p>
<p>図書を目的としない利用者へのサービス</p>	<p>図書を目的としない方にも図書館全体として楽しんでもらうため、階段ひろば、屋内・屋外ひろば、自習のできるラーニングスペース、食文化等の体験学習スペース、カフェなど様々な機能を提供します。</p>
<p>ユニバーサルデザイン</p>	<p>ユニバーサルデザインに配慮し、多くの方に使いやすい環境を提供します。</p>

施策⑤ 図書館を支えるハイレベルな職員の養成

項目	具体的取組み
図書館職員の能力の向上	<p>多様な人材を確保するとともに、キュレーション能力の向上や、リエゾンライブラリアンとしての専門分野の開拓に向けた研修を実施します。また、専門機関等との連携企画を運営する中でもリエゾン能力の獲得を図ります。</p>
	<p>歴史的公文書等の適正な管理を支え、かつ永続的な保存と利用を確かなものとする専門職(アーキビスト)の育成を図ります。</p>
	<p>職員のコミュニケーション能力の向上、傾聴力の向上を図ります。</p>
図書館ボランティア	<p>自己実現の場として活躍いただける図書館ボランティアを募り、研修を行った上で各種図書館サービスを担っていただきます。</p>
アンケート	<p>より良い県立図書館とするため、利用者アンケートを実施し、サービス計画や具体の取組みに活かします。</p>

重点戦略Ⅲ 知と文化の象徴として多様な情報を集積する

施策⑥ 石川ならではの情報を含む多様な資料の収集・整備

項目	具体的取組み
開架図書 of 充実	閲覧室には約30万冊の資料を開架し、提供します。
収集方針・選択基準の運用	資料の収集方針・選択基準に基づき、図書、逐次刊行物、視聴覚資料、博物資料、電子資料等の幅広い資料を収集します。収集は利用者のニーズや社会状況、時事を踏まえて行い、また、適切に書庫への移動や除籍を行います。
石川コレクションの収集	本県の大きな特徴である「伝統文化」「里山里海」に関する資料を、国内外問わず幅広く収集します。
石川県関係資料の収集・保存	過去から現代まで、本県に関する歴史・郷土資料、各種メディア資料等を網羅的に収集し、体系的に保存します。
行政資料の収集	県及び市町の行政刊行物等について、県立図書館への提供を積極的に働きかけ、収集・保存します。
古文書等の収集	絵図等の古文書や古典籍について、必要に応じて収集し、適切な環境で保存します。
歴史的公文書の保存	保存年限を過ぎた県の行政文書のうち、歴史的価値のあるものについて適切に保存します。
資料のアンケート実施	所蔵希望資料のアンケートを実施。資料選択基準及び利用者のニーズを踏まえて収集を検討します。



施策⑦ 快適な情報へのアクセスと閲覧環境の提供

項目	具体的取組み
利用者に使いやすい検索機能	「ワンストップ統合検索システム」により、図書・古文書・公文書など、図書館が有するあらゆる資料を一元的に検索できるようにします。
目的の場所に到達するまでの案内	分かりやすい案内サインはもちろん、館内の各エリアを紹介する「エリアナビ」や、検索した資料の場所を詳しく表示する「ブックナビ」により、利用者を分かりやすく目的の場所まで案内します。
貸出時の利便性向上	セルフ貸出機、資料予約システムにより、窓口の混雑緩和やプライバシーの配慮を図ります。
郷土資料の分かりやすい提供	郷土資料を分かりやすく展示した「いしかわを知ろう」コーナーを設けるほか、石川県内文学賞コーナーを設ける等、石川への理解を深めてもらう工夫を凝らします。
石川アーカイブ	絵図や古典籍、地籍図、価値ある郷土資料などのデジタル化を進め、「石川アーカイブ」として体系的に整理・提供します。また、デジタルデータは各種創作活動での利用やウェブサイトでの公開を積極的に進めます。
快適な閲覧空間	半個室状で読書に没頭できる席、作業に適したキャレル席など、魅力的な閲覧環境を提供します。また、静穏なサイレントルーム、グループ学習が可能なグループ活動室など、様々な利用目的に応じた多彩なスペースを提供します。
Wi-Fi 接続	館内全域で Wi-Fi 接続環境を整え、自由に情報ネットワークにアクセスできる図書館とします。また、数多くの閲覧席にコンセントを配し、情報機器を使いやすくします。
資料複写サービス	所蔵資料の情報を有意義に利用いただくため、コイン複写機による資料複写サービスを提供します。

重点戦略Ⅳ 唯一の「県立」として、積極的で幅広い連携・支援・発信を担う

施策⑧ 県内図書館や高等教育機関、学校、文化施設等との連携・支援

項目	具体的取組み
相互貸借の運用	県内公共図書館及び協定を結んでいる大学図書館、東海北陸地区の県立図書館等との相互貸借により、本県立図書館が所蔵していない資料は他館から取り寄せて提供します。
横断検索の運用	県内公共図書館及び協定を結んでいる大学図書館等の所蔵資料を横断で検索できるようにします。
遠隔地サービスの提供	県立図書館から離れて暮らす県民には、身近な市町立図書館で資料の受取や返却ができる「遠隔地サービス」を提供します。
市町立図書館との連携強化	石川県図書館大会などにより、市町立図書館との情報共有、連携強化を図ります。
大学や専門機関等との連携	大学や専門機関と連携し、子育てをはじめ、健康・ビジネス・くらしの法律等、県民の悩みや課題を解決するための講座や相談会等を開催するとともに、連携先との関係を強固にすることで図書館サービスの向上を図ります。
学校への支援	小中学校及び高等学校の児童・生徒のための資料を整備し、貸し出します。
県内文化施設との連携	県立図書館から県内文化施設の情報を発信するとともに、図書館と文化施設の資源を有機的に結び付け、相互の利用促進につなげる等、図書館がハブになった文化施設とのネットワークを構築します。
	石川の文化を発信するため、県内文化施設等との企画と連動したギャラリートークといったイベントの開催や、情報の提供・発信を行います。
自然史資料館との連携	県立自然史資料館のサテライトブースを設け、各種展示やイベント等を開催します。

## 施策⑨ 効果的で訴求力のある広報の展開

項目	具体的取組み
効果的な広報	図書館報のほか、ウェブサイト、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)等による機動的な広報を展開します。
	ウェブサイトは読みやすく、求める情報が探しやすいよう工夫します。また、新着案内、オススメの資料やイベントなど、見てみたくなるウェブサイトづくりを行います。
情報提供	図書館・県内文化施設、専門機関の各種情報を様々な方法で周知します。

### 4. 中期経営プランの点検と評価

#### (1)点検・評価

令和9年度までの、本プランに基づいて、図書館の運営を行っていきますが、さらに具体的な事業内容については、年度ごとに事業計画を定めて実施します。そして、図書館の描く基本理念に従った運営がなされているか、サービスで実現される理想の姿に向かっているかという点について、本プランの実施状況を定期的に点検・評価します。そこで明らかになった問題点については、サービスの改善を検討し、次年度の事業計画で実行に移すとともに、次のプランへと適切に反映させていきます。

なお、点検・評価については図書館法に基づき設置される石川県立図書館協議会で報告・評価を行い、PDCA サイクルによる管理を行うこととします。

#### (2)サービス水準を測る参考となる指標

本プランの点検・評価にあたり、参考となる具体の指標を以下のとおりとします。一部指標については、開館初年度の状況を鑑みて、目標値を設定します。

点検・評価にあたっては、この指標を参考に、施策項目ごとの取組状況を確認しながら質的な評価を行うこととします。なお、運営を行う中で、サービス水準を測る的確な指標についても見直しを行っていくこととします。

1. 年間来館者数
2. 利用者カード新規登録者数
3. 年間貸出冊数
4. 館内コレクション総合検索「SHOSHOISHIKAWA」での検索可能件数
5. 利用者満足度

項目	旧館 実数			初年度見込み	目標値				
	R元年度	R2年度	R3年度 (開館期間 4/1～10/31)	R4 (7/18～3/31) 8.5ヵ月	R5年度 計画1年目	R6年度 2年目	R7年度 3年目	R8年度 4年目	R9年度 5年目
年間来館者数	257,589	122,689	89,090	700,000 (年換算1,000,000)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
利用者カード新規登録者数	1,355	1,226	793	45,000	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
年間貸出冊数	129,150	118,748	76,943	280,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000
館内コレクション総合検索 [SHOSHOSHIKAWA]の検 索可能件数	-	-	-	開館時1,412,887 年度末1,442,000	1,602,000	1,644,000	1,686,000	1,728,000	1,770,000
利用者満足度	85%	84%	-	85%	85%	85%	85%	85%	85%

### (3)業務進捗状況を測る値

各課の業務進捗状況を可視化するために、参考とする各課の業務に応じた目標を設定し、日々の業務を遂行します。また、中間経営プランの変更があれば随時、項目及び目標値も見なおしを行っていくこととします。

施策① 知識を深め、アウトプットに役立つ体験の提供

1. 主催・共催のワークショップ実績(件数)
2. モノづくり体験スペース機器稼働日数

施策② 多くの県民を惹きつける魅力的なイベントや企画展示の実施

1. 主催・共催イベント件数(①-1を含む)
2. 貸しスペース利用件数(自主・共催事業、貸館すべて含める)
3. 展示コーナー展示替え件数

施策③ 県民が抱えるライフステージ上の悩みや課題へのサポート

1. テーマ別配架新規追加冊数
2. レファレンス事例記録件数
3. ふるさとコレクションキュレーション新規登録及び改訂件数
4. 見学ツアー等での利用者向け図書館使い方説明会実施回数
5. レファレンス協同データベース新規登録件数

施策④ 幅広い利用者に対応した多様なサービスの提供

1. 児童書年間購入冊数
2. ユニバーサル資料蔵書数(年度末時点)
3. 職員又はボランティアによる対面朗読実施数
4. 館内貸出冊数

施策⑤ 図書館を支えるハイレベルな職員養成

1. 県立図書館職員研修の実績(延べ日数)
2. 県立図書館職員研修の実績(参加人数)
3. 研修講師派遣研修

施策⑥ 石川ならではの情報を含む多様な資料の収集・整備

1. 図書年間購入冊数
2. 外国語資料年間追加冊数
3. 石川コレクション年間追加点数(寄託及びデジタル点数含む)

#### 4. 郷土資料年間追加点数

##### 施策⑦ 快適な情報へのアクセスと閲覧環境の提供

1. 石川コレクション及び貴重資料等のデジタル化点数
2. 歴史公文書デジタル化点数
3. 総合検索システム検索可能点数(再掲)

##### 施策⑧ 県内の図書館や高等教育機関、学校、文化施設等との連携・支援

1. 相互貸借搬送冊数
2. 郵送による文献複写依頼件数
3. 県立図書館横断検索アクセス数
4. 学校支援資料貸出冊数
5. 大学や専門機関、県関係機関との連携件数

##### 施策⑨ 効果的で訴求力のある広報の展開

1. ホームページトップページ閲覧数
2. SNS 投稿数
3. 総合検索システムの利用頻度
4. 総合検索システムのトップページ閲覧数